

# ANAホールディングス株式会社 説明会

2019年3月期 第3四半期決算

中期経営戦略アップデート（2019～2020年度）

代表取締役社長

片野坂 真哉

2019年1月29日



## 目 次

### 【第1部】

1. <u>2018年度 第3四半期決算（概要）</u>	P. 4
2. <u>中期経営戦略アップデート（2019~2020年度）</u>	
中期経営戦略の進捗状況	P. 5- 6
航空事業	
①ANA	P. 7- 9
②LCC	P. 10
リソース戦略	P. 11
コストマネジメント	P. 12
経営財務指標	P. 13

### 【第2部】

3. <u>2018年度 第3四半期決算（詳細）</u>	
業績ハイライト	P. 18
連結決算概要	
経営成績	P. 19
財政状態	P. 20
キャッシュフロー	P. 21
セグメント別実績	P. 22
航空事業	
収入・費用	P. 23
営業利益増減要因	P. 24
国内旅客事業	P. 25-26
国際旅客事業	P. 27-29
国内貨物事業	P. 31
国際貨物事業	P. 32-34
LCC事業	P. 35-36
燃油・為替ヘッジの進捗状況	P. 37
航空事業以外のセグメント	P. 38

### 補足資料

運用航空機数	P. 40
国際旅客 方面別実績（構成比）	P. 41
国際貨物 方面別実績（構成比）	P. 42

## 第1部

1. 2018年度 第3四半期決算（概要）
2. 中期経営戦略アップデート（2019~2020年度）



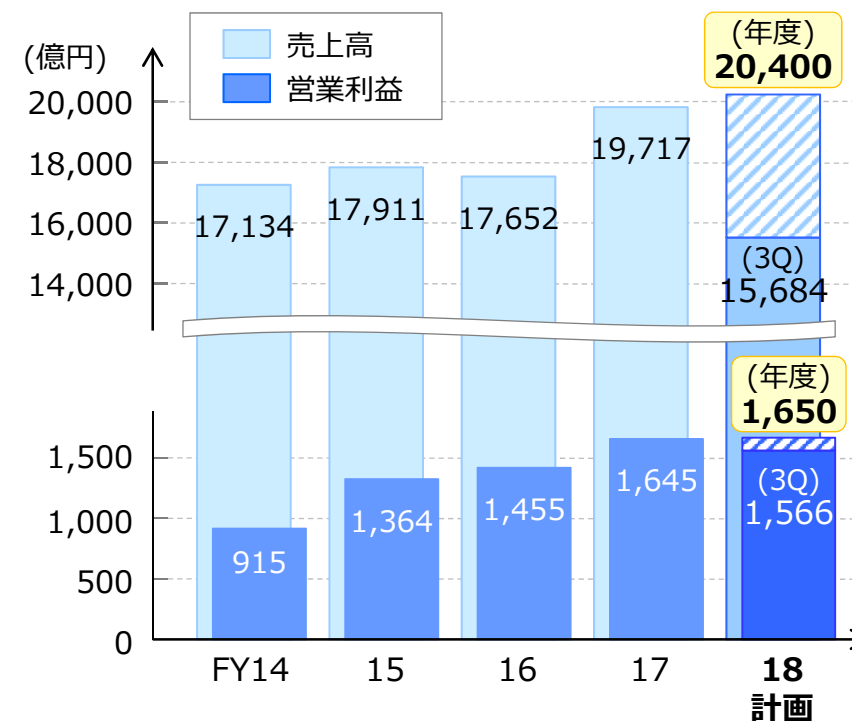
## 2018年度 第3四半期決算（概要）

今期の業績は、過去最高の売上高・営業利益に向けて順調に推移

## 1. 第3四半期決算（連結）

(億円)	実績	前年差	前年比
売上高	<b>15,684</b>	+775	+5.2%
航空事業	13,834	+753	+5.8%
営業利益	<b>1,566</b>	▲93	▲5.6%
航空事業	1,492	▲61	▲4.0%
営業利益率	10.0%	▲1.1pt	-
経常利益	<b>1,541</b>	▲97	▲5.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>1,068</b>	▲461	▲30.2%
EBITDA	<b>2,733</b>	▲45	▲1.6%

## 2. 年度売上高・営業利益の推移（連結）



▶ ポイント

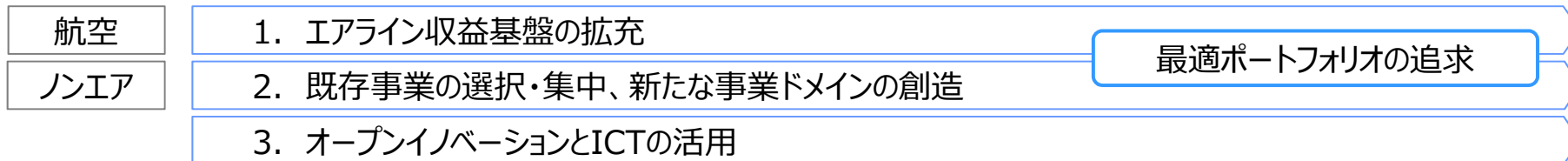
- 1) 売上高 : 航空事業（旅客・貨物）がトップラインを牽引
- 2) 営業利益 : 前年同期比では減益ながら、当初計画を上回って推移

## 中期経営戦略の進捗状況

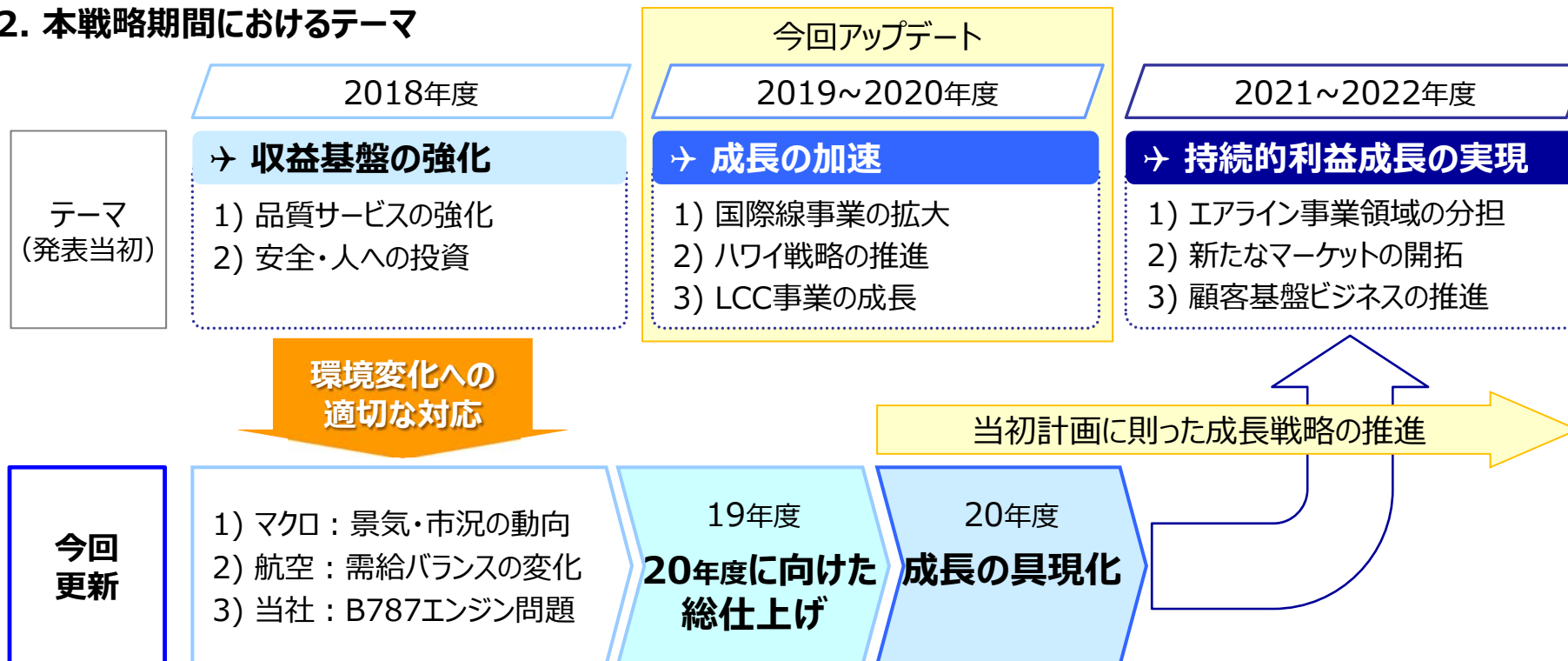
2019年度は、2020年度に向けて安全と品質サービスを総仕上げ

### 1. 戦略の「柱」

当初計画から変更なし



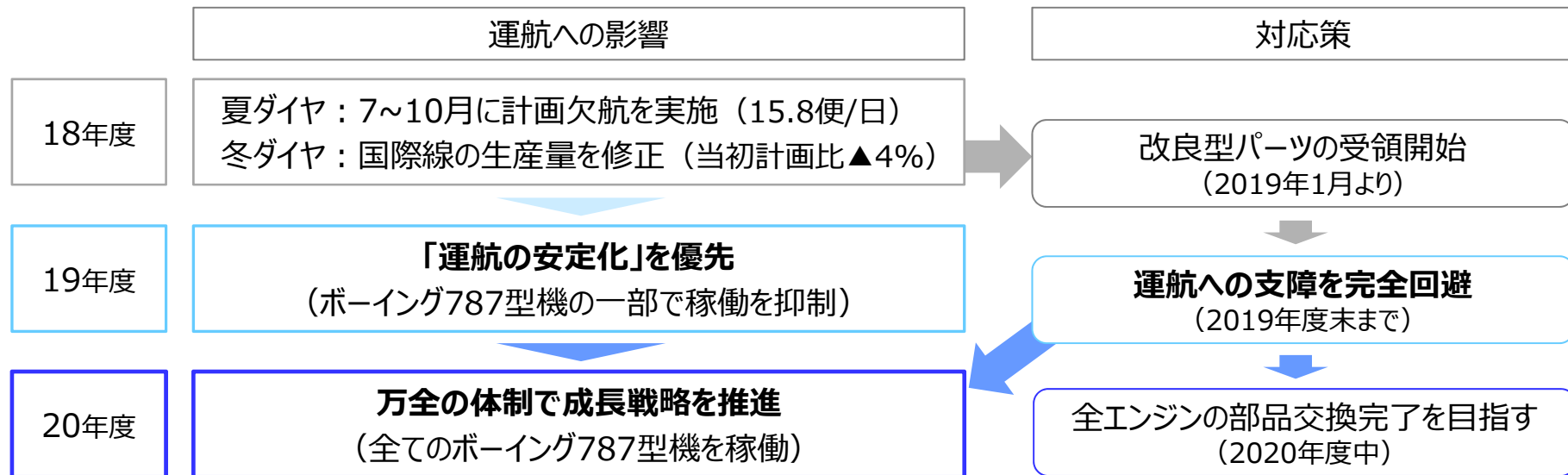
### 2. 本戦略期間におけるテーマ



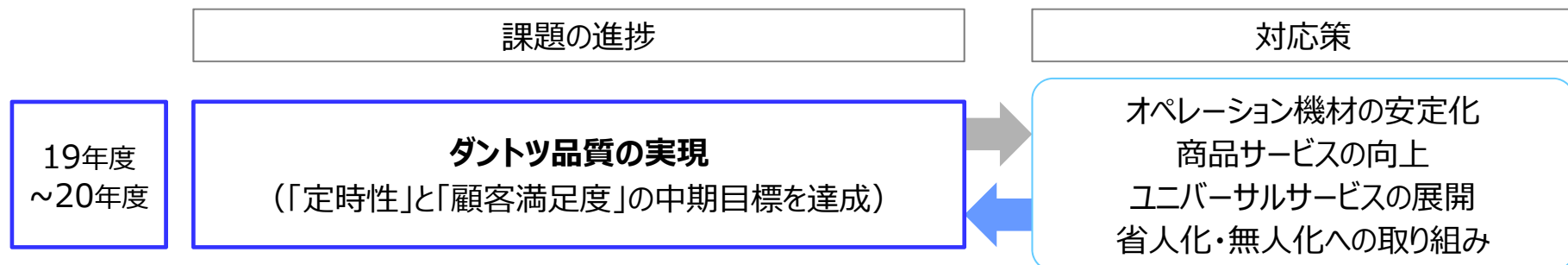
## 中期経営戦略の進捗状況

2020年度に全てのボーイング787型機を稼働、ダントツ品質を実現

### 1. 安全：ボーイング787型機エンジン問題への適切な対応



### 2. 品質サービス：基本品質の向上



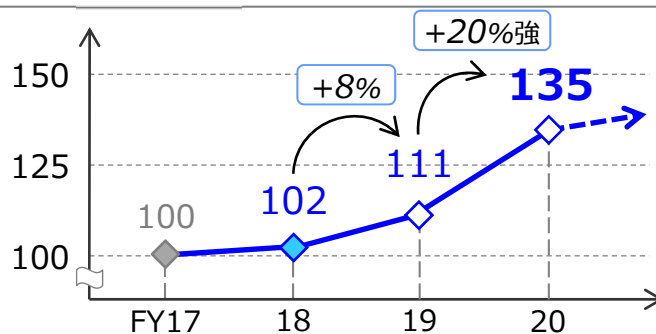
## 航空事業 ① ANA

2020年度は中期経営戦略の当初計画に沿って生産量を拡大

生産量 (2017年度実績 = 100)

戦略のポイント (2019~2020年度)

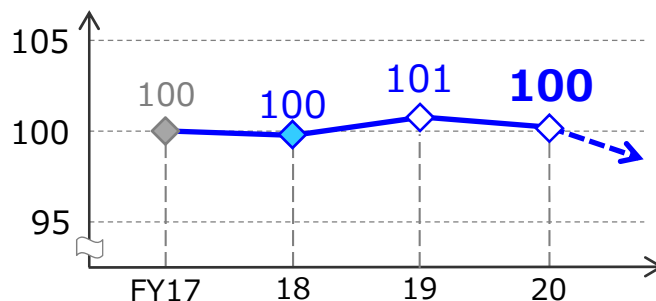
国際旅客



### グループの成長ドライバー、収入・収益を牽引

- 1) 首都圏空港を拠点に事業を拡大
  - ① 羽田：発着枠の拡大を最大限に活用
  - ② 成田：接続需要の取り込みを強化
- 2) ハワイ戦略の展開

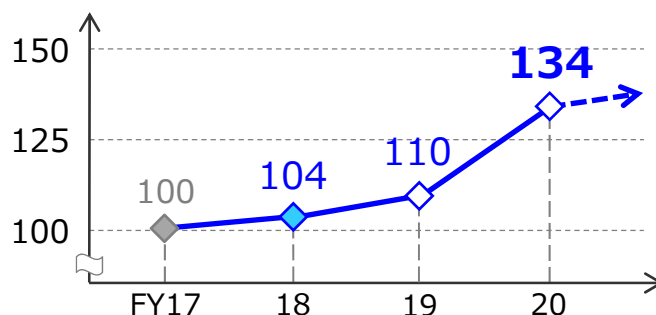
国内旅客



### グループ最大の収益基盤を堅持

- 1) 羽田・伊丹路線を中心に収益性を維持
- 2) 機材の小型化 (需給適合)
- 3) プロダクト・サービスの強化

国際貨物



### ネットワークを再構築、収益性の改善を加速

- 1) 首都圏ハブ機能の強化
  - ① 大型フレイターの導入
  - ② 他社との提携強化
- 2) 沖縄ハブネットワークの規模を適正化

## 航空事業 ①ANA

新規路線の開設や他社との提携強化等により、ネットワークの競争優位性を向上

### 1. 2019年度 事業計画（アジア・オセアニア方面）

#### 1) 新規路線の開設

- ① 成田＝パース線（9/1 就航予定）
- ② 成田＝チェンナイ線（冬ダイヤ中に就航予定）

#### 2) ボーイング787-10型機の投入

- ① 成田＝シンガポール線（4/26～）
- ② 成田＝バンコク線（7/1～）

#### 3) 他社との提携強化

【フィリピン航空との戦略的提携】（1/29 適時開示）  
成長を続ける日本＝フィリピン間の航空需要を取り込み

- 1) 出資額 95百万米ドル（約105億円）
- 2) 提携内容
  - ① 取締役の派遣
  - ② コードシェア提携
  - ③ マイレージ・プログラム提携
  - ④ 空港業務の受委託

アジア・オセアニア全域でANAのカバレッジを拡大

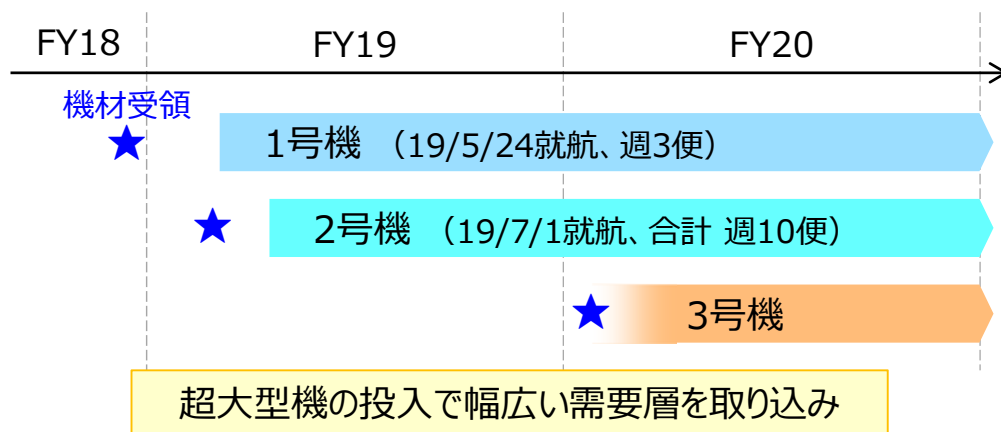
#### 【ネットワーク戦略】



## 航空事業 ① ANA

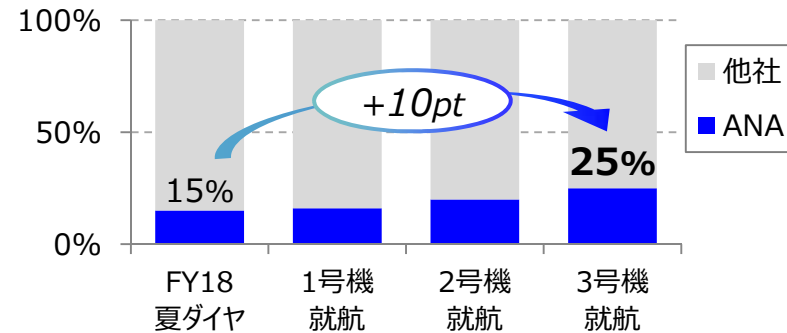
新たな機材を活用して、グループの収入・収益を拡大

### 2. エアバスA380型機の就航 “ハワイ戦略”

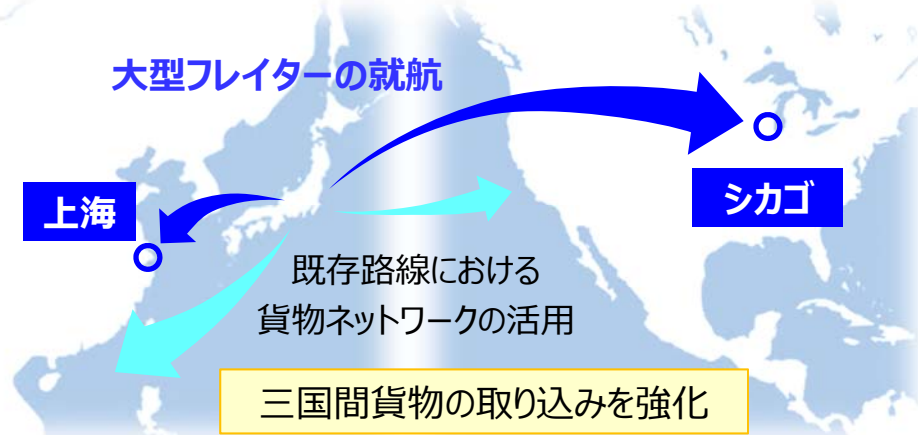


【日本－ハワイ間 座席数シェア】

※他社の座席数はFY18夏ダイヤ実績を据え置いて算定

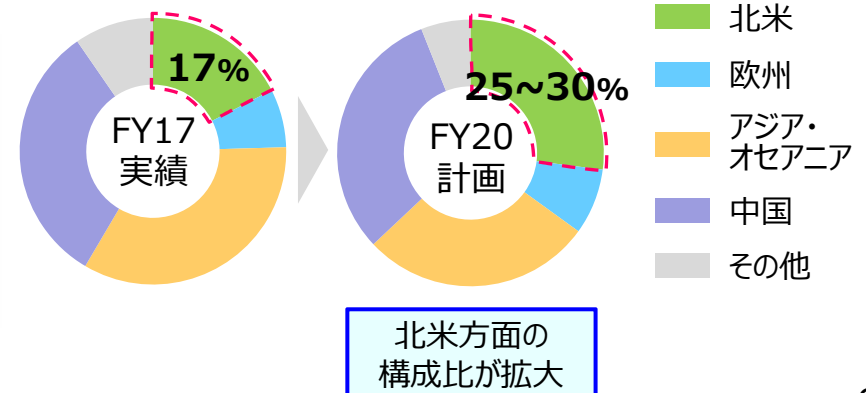


### 3. ボーイング777F型機 (大型フレイター) の導入



【有効貨物トン 方面別構成比\*】

\* 他社提携分を含む



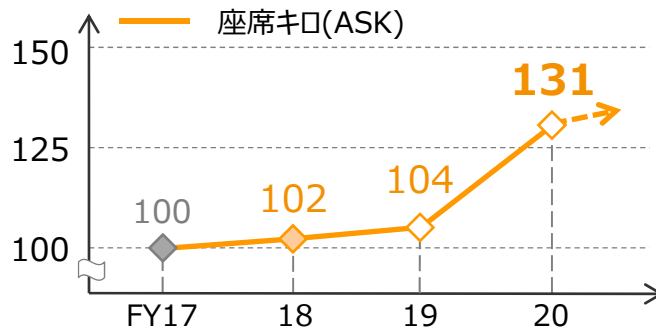
## 航空事業 ②LCC

統合によって経営の効率性を高め、“アジアのリーディングLCC”を目指す

生産量 (2017年度実績 = 100)

戦略のポイント (2019~2020年度)

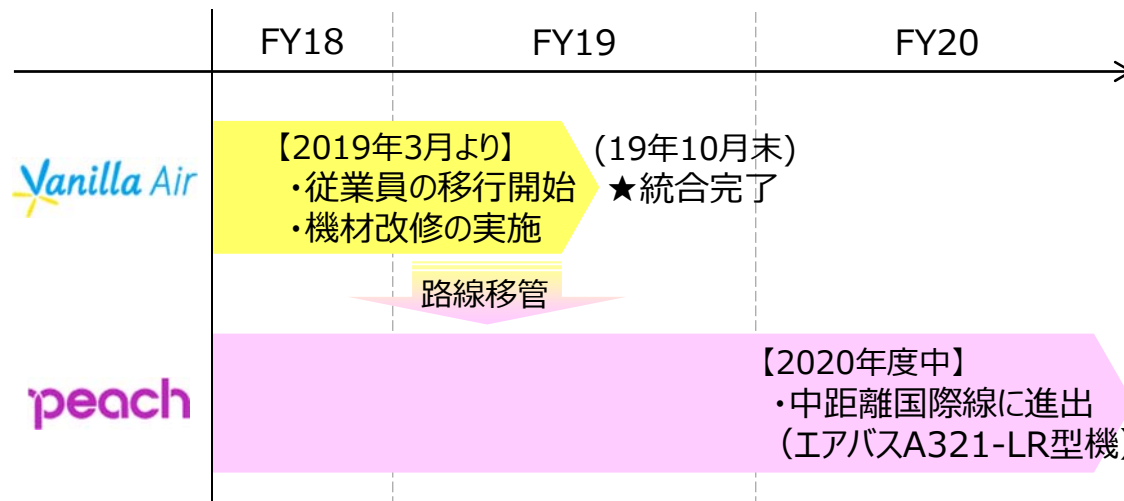
LCC



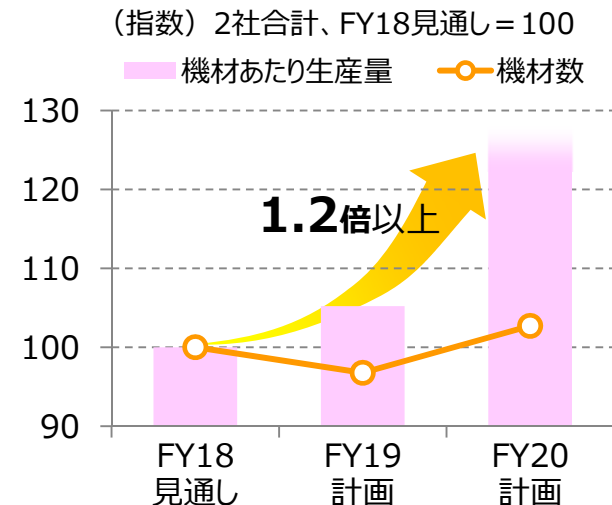
### 統合シナジーを活かして事業を拡大

- 2019年10月末に統合を完了
- 関西・成田を主軸に就航路線を拡大
  - 地方都市を含めたレジャー・訪日需要の囲い込み
  - 2020年度中に中距離国際線に進出

### 統合に向けたスケジュール



### 【機材あたり生産量】



## リソース戦略

今後の成長を支える機材・乗員を安定的に確保

### 1. 機材・乗員

#### 1) 機材計画

約**320機**  
(2020年度末)

主な機材

投入路線

大型機 **60**

A380  
B777

主要路線

中型機 **115**

B787  
B767

中・長距離路線  
新規路線

小型機 **80**

A321  
A320  
B737  
MRJ

近距離路線  
ローカル線

リージョナル**25**

小型機 **40**

A321  
A320

近・中距離路線

#### 2) 乗員リソース

- 1) 安定採用の継続（自社養成、航空大学校）
- 2) 採用リソースの多様化（大学、自衛隊など）
- 3) 訓練の効率化

- 1) 副操縦士を対象とした機長昇格訓練
- 2) 自社養成の開始（2019年度より）

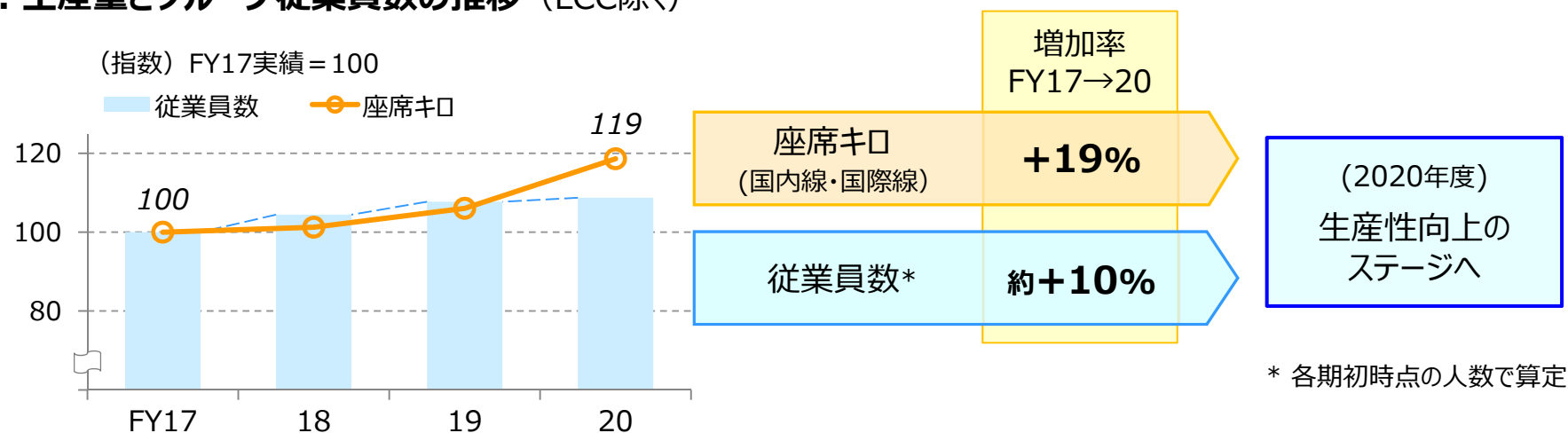
### 2. 航空機発注について（1/29 適時開示）

機材	導入目的	発注	受領時期
1) ボーイング737 MAX 8型機	B737-700、-800の後継機	30機	2021~2025年度
2) エアバスA320neo型機	LCCを含めた更新機材	18機	2021~2025年度

## コストマネジメント

事業の拡大を担う人財を確保しながら生産性を向上、ユニットコストを低減

### 1. 生産量とグループ従業員数の推移 (LCC除く)

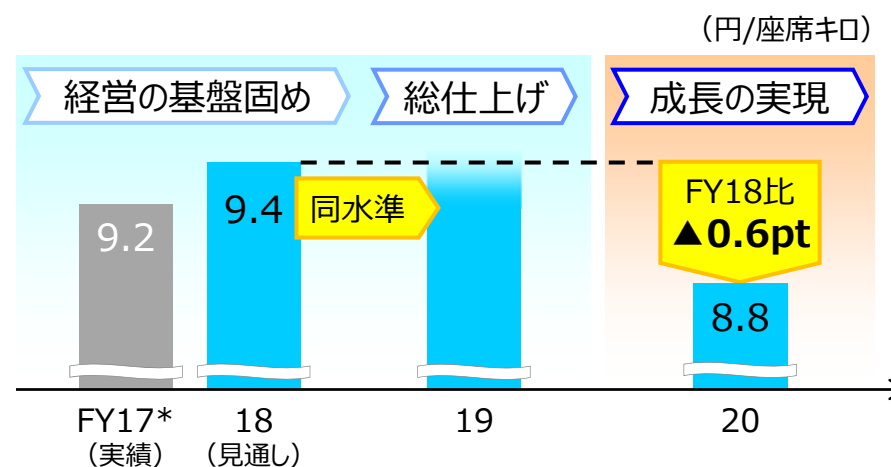


### 2. ユニットコスト

- 1) FY18→19 : ユニットコストは前年並み (FY20に向けた総仕上げ)
- 2) FY19→20 : ユニットコストは低減 (国際線事業の拡大)

※ ユニットコストの定義 (ANA)

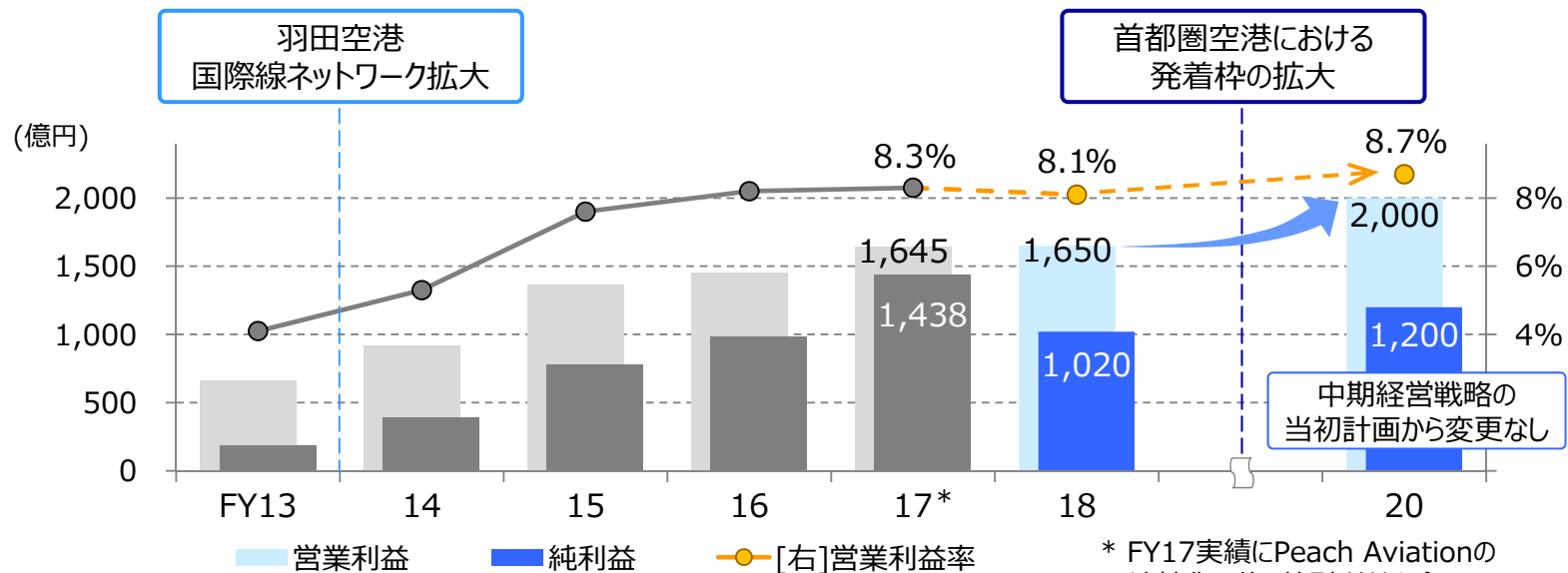
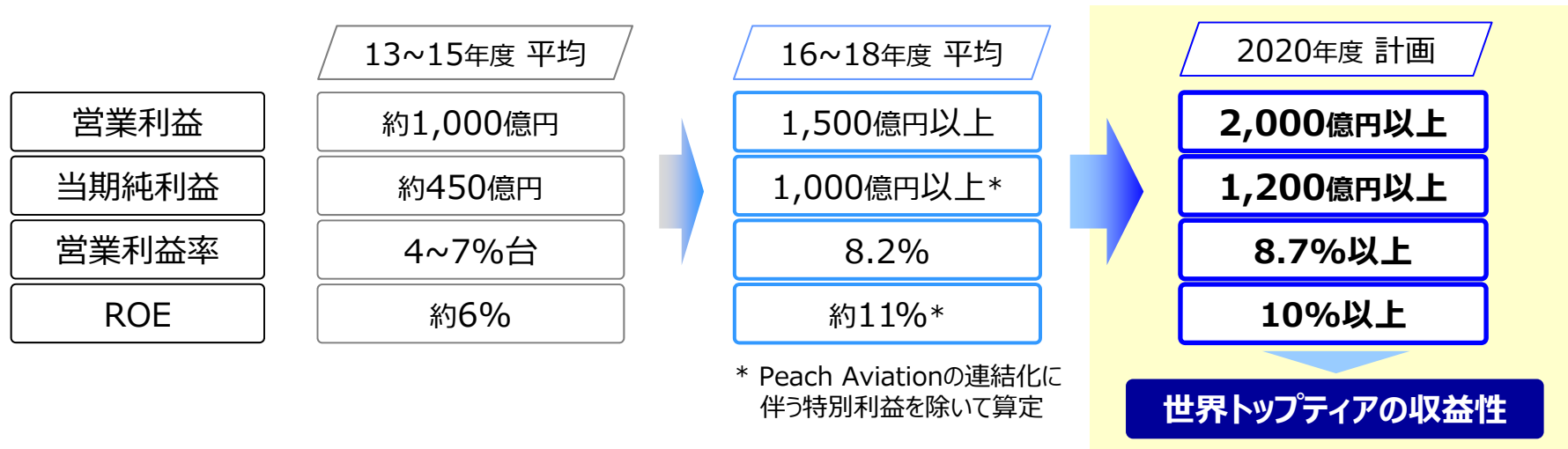
$$\frac{\text{営業費用(合計)} - (\text{貨物郵便収入} + \text{その他収入})}{\text{国内旅客ASK} + \text{国際旅客ASK}}$$



\*整備委託プログラム加入による影響を含む

## 経営財務指標

世界のリーディングエアライングループに向けて価値を創造



Intentionally Blank

Intentionally Blank

Intentionally Blank

## 第2部

### 3. 2018年度 第3四半期決算（詳細）



## 業績ハイライト

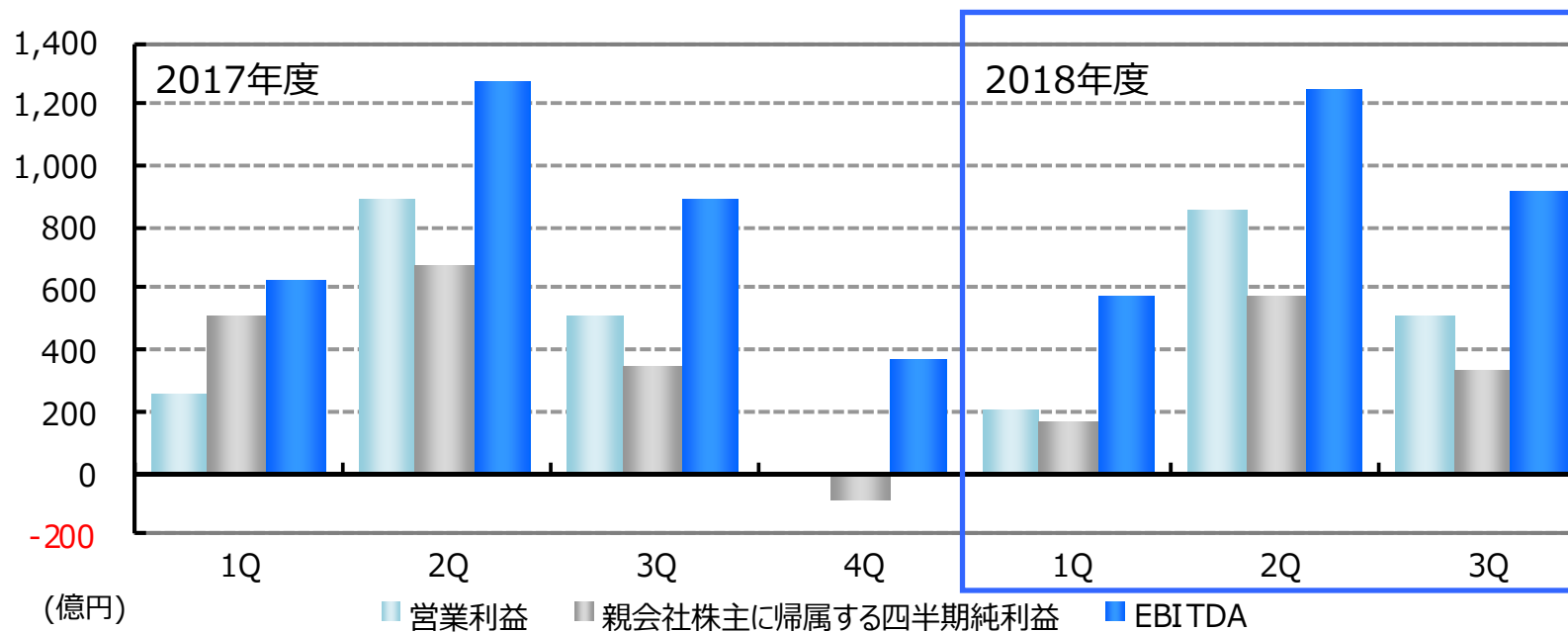
### 当年度と前年度各四半期の業績比較

#### 【2018年度 第3四半期 累計 (連結)】

- 営業利益 : 1,566億円 (前年同期比 △ 93億円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 1,068億円 ( 同 △ 461億円)
- EBITDA : 2,733億円 ( 同 △ 45億円)

#### 【第3四半期 (10-12月期) (連結)】

- 営業利益 : 514億円
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 331億円
- EBITDA : 913億円



## 連結決算概要

経営成績	単位：億円	FY2017	FY2018	前年差	FY2018	前年差
		第3四半期累計	第3四半期累計		第3四半期	
売上高		14,908	15,684	+ 775	5,303	+ 245
営業費用		13,248	14,118	+ 869	4,789	+ 240
営業利益		1,659	1,566	△ 93	514	+ 5
営業利益率 (%)		11.1	10.0	△ 1.1pt	9.7	△ 0.4pt
営業外損益		△ 20	△ 24	△ 3	△ 1	△ 4
経常利益		1,638	1,541	△ 97	512	+ 0
特別損益		439	△ 65	△ 504	△ 65	△ 64
親会社株主に帰属する四半期純利益		1,529	1,068	△ 461	331	△ 14
四半期純利益		1,546	1,075	△ 470	333	△ 15
その他包括利益		316	4	△ 311	△ 429	△ 579
包括利益		1,862	1,080	△ 782	△ 96	△ 594

## 連結決算概要

## 財政状態

単位：億円

	FY2017 期末	FY2018 第3四半期末	前年度 期末差
総資産	25,624	25,886	+ 261
自己資本	9,886	10,666	+ 779
自己資本比率(%)	38.6	41.2	+ 2.6pt
有利子負債残高	7,983	7,810	△ 173
D/Eレシオ (倍) *	0.8	0.7	△ 0.1
純有利子負債残高 **	4,408	4,502	+ 93

\* オフバランスリース債務額 0億円（前年度期末 205億円）

\*\* 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - （流動資産（現金及び預金 + 有価証券））

## 連結決算概要

## キャッシュフロー

単位：億円

	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差
営業キャッシュフロー	2,608	2,065	△ 543
投資キャッシュフロー	△ 2,859	△ 2,077	+ 782
財務キャッシュフロー	114	△ 535	△ 650
現金及び現金同等物の増減額	△ 127	△ 548	△ 420
現金及び現金同等物の期首残高	3,090	2,705	} △ 548
現金及び現金同等物の期末残高	2,963	2,156	
減価償却費	1,118	1,166	+ 48
設備投資額（固定資産のみ）	2,614	2,447	△ 166
実質フリーキャッシュフロー （3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く）	309	269	△ 40
EBITDA（営業利益+減価償却費）	2,778	2,733	△ 45
EBITDAマージン(%)	18.6	17.4	△ 1.2pt

## 連結決算概要

## セグメント別実績

単位：億円

	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差	FY2018 第3四半期	前年差	
売上高	航空事業	13,081	13,834	+ 753	4,676	+ 249
	航空関連事業	2,115	2,171	+ 55	718	+ 19
	旅行事業	1,219	1,152	△ 66	355	△ 28
	商社事業	1,065	1,142	+ 76	392	+ 17
	その他	281	292	+ 10	98	+ 2
	調整額	△ 2,854	△ 2,908	△ 53	△ 937	△ 15
	合計（連結）	14,908	15,684	+ 775	5,303	+ 245
営業利益	航空事業	1,554	1,492	△ 61	481	+ 20
	航空関連事業	114	122	+ 7	46	+ 0
	旅行事業	36	13	△ 23	6	△ 7
	商社事業	36	29	△ 6	12	△ 1
	その他	23	19	△ 3	7	+ 0
	調整額	△ 106	△ 112	△ 6	△ 40	△ 6
	合計（連結）	1,659	1,566	△ 93	514	+ 5

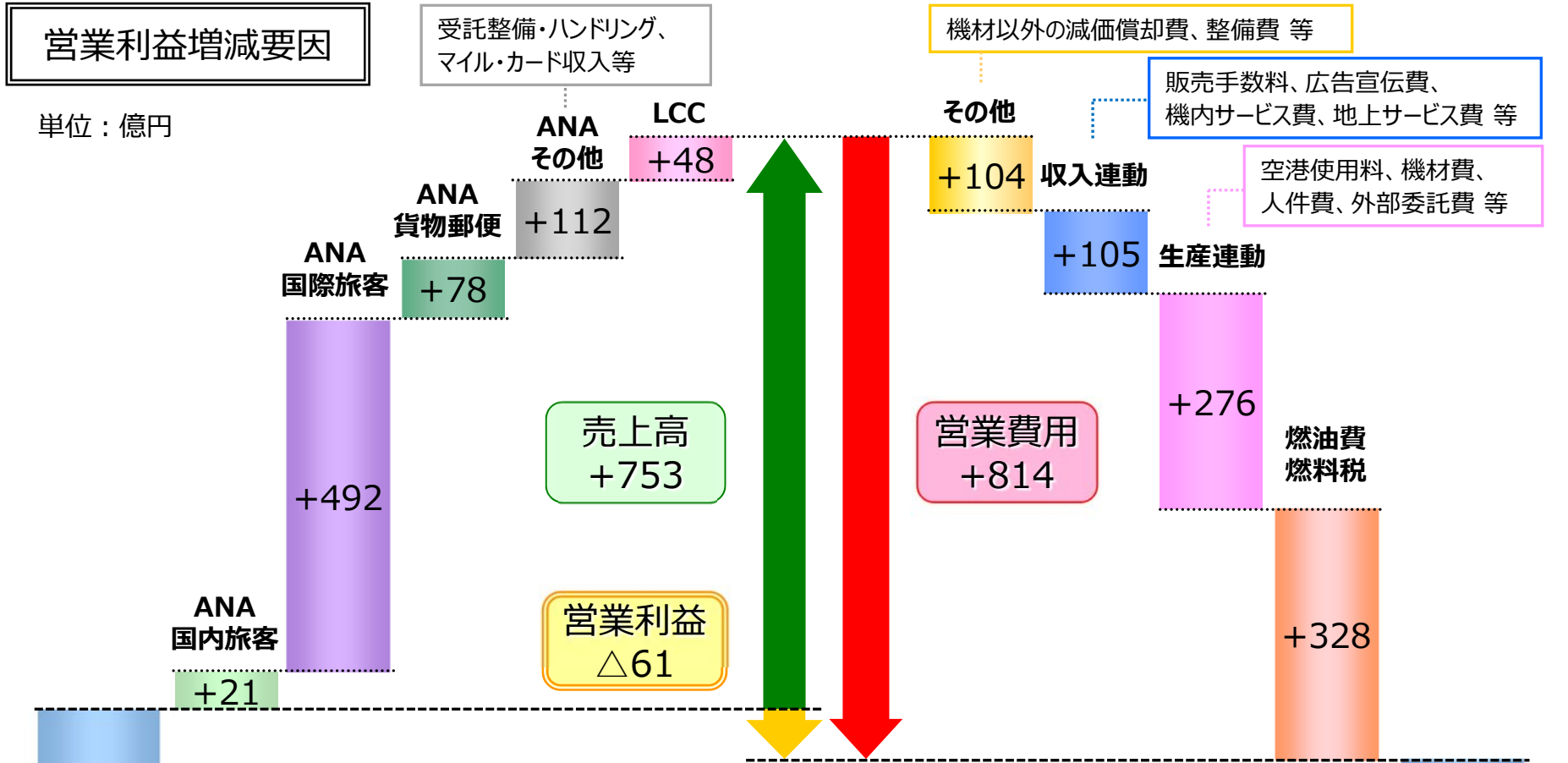
## 航空事業

収入・費用		単位：億円		FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差	FY2018 第3四半期	前年差
売上高	ANA	国内旅客	5,326	5,348	+ 21	1,825	+ 49	
		国際旅客	4,474	4,966	+ 492	1,655	+ 136	
		貨物郵便	1,187	1,266	+ 78	441	△ 3	
		その他	1,448	1,561	+ 112	546	+ 59	
		LCC	643	692	+ 48	208	+ 6	
		合計	13,081	13,834	+ 753	4,676	+ 249	
営業費用		燃油費・燃料税	2,246	2,574	+ 328	858	+ 71	
		空港使用料	927	914	△ 12	301	△ 6	
		航空機材賃借費	826	923	+ 97	315	+ 43	
		減価償却費	1,069	1,118	+ 48	382	+ 21	
		整備部品・外注費	1,038	1,127	+ 89	436	+ 52	
		人件費	1,492	1,550	+ 57	516	+ 12	
		販売費	758	810	+ 51	263	+ 10	
		外部委託費	1,662	1,768	+ 106	588	+ 21	
		その他	1,506	1,555	+ 48	530	+ 3	
		合計	11,527	12,341	+ 814	4,194	+ 228	
営業利益	営業利益	1,554	1,492	△ 61	481	+ 20		
	EBITDA (営業利益+減価償却費)	2,624	2,610	△ 13	864	+ 41		
	EBITDAマージン (%)	20.1	18.9	△ 1.2pt	18.5	△ 0.1pt		

# 航空事業

## 営業利益増減要因

単位：億円



【モニタリング指標】ANA旅客事業ユニットコスト (円/ASK)

2018年度 計画	2018年度 3Q累計	
	実績	実績 (為替補正)
9.4	9.4	9.4

FY2017 3Q累計  
営業利益

FY2018 3Q累計  
営業利益

## 航空事業

## 国内旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	44,481	44,083	△ 0.9	14,710	+ 1.9
旅客キロ（百万）	30,752	30,971	+ 0.7	10,459	+ 1.8
旅客数（千人）	33,799	33,757	△ 0.1	11,416	+ 1.0
座席利用率（%）	69.1	70.3	+ 1.1pt*	71.1	△ 0.1pt*
旅客収入（億円）	5,326	5,348	+ 0.4	1,825	+ 2.8
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	12.0	12.1	+ 1.3	12.4	+ 0.8
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	17.3	17.3	△ 0.3	17.4	+ 1.0
単価（円） （旅客収入／旅客数）	15,760	15,844	+ 0.5	15,986	+ 1.7

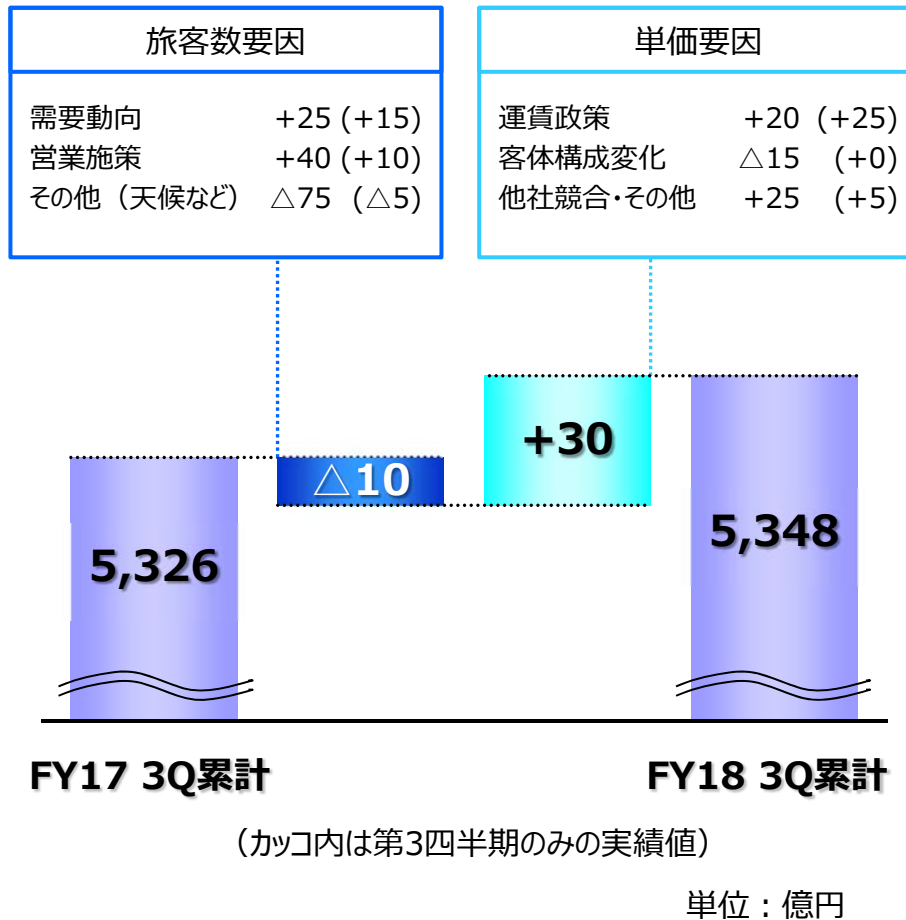
\* 座席利用率のみ前年差

# 航空事業

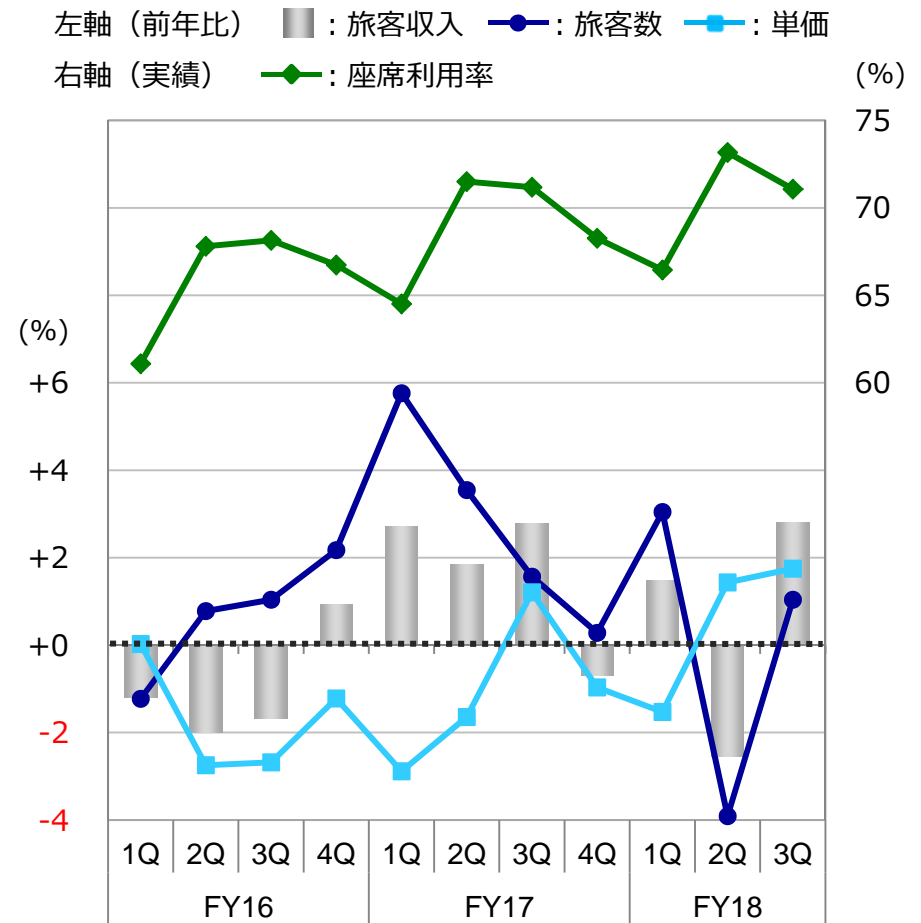
## 国内旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

### 第3四半期累計 収入増減要因



### 四半期別 実績推移



## 航空事業

## 国際旅客事業（実績）

(ANAブランド)	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	48,194	49,634	+ 3.0	16,318	△ 0.1
旅客キロ（百万）	36,684	38,298	+ 4.4	12,510	△ 0.1
旅客数（千人）	7,238	7,642	+ 5.6	2,469	△ 0.3
座席利用率（%）	76.1	77.2	+ 1.0pt*	76.7	+ 0.0pt*
旅客収入（億円）	4,474	4,966	+ 11.0	1,655	+ 9.0
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	9.3	10.0	+ 7.8	10.1	+ 9.2
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	12.2	13.0	+ 6.3	13.2	+ 9.1
単価（円） （旅客収入／旅客数）	61,812	64,985	+ 5.1	67,049	+ 9.3

\* 座席利用率のみ前年差

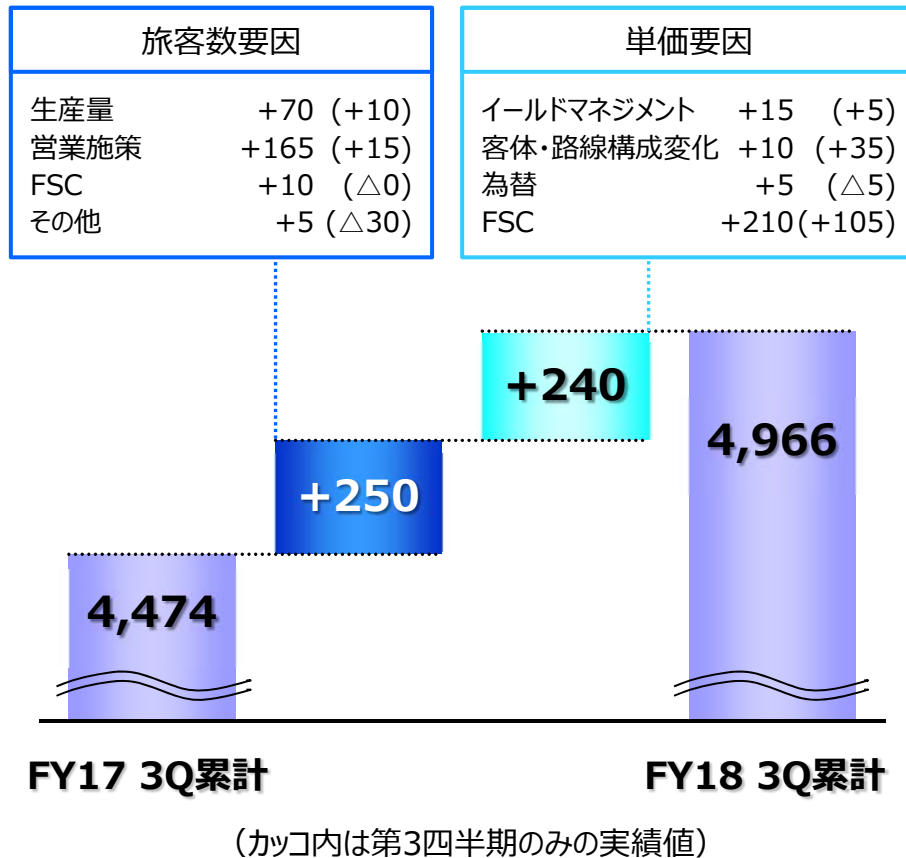
# 航空事業

## 国際旅客事業（事業動向）

(ANAブランド)

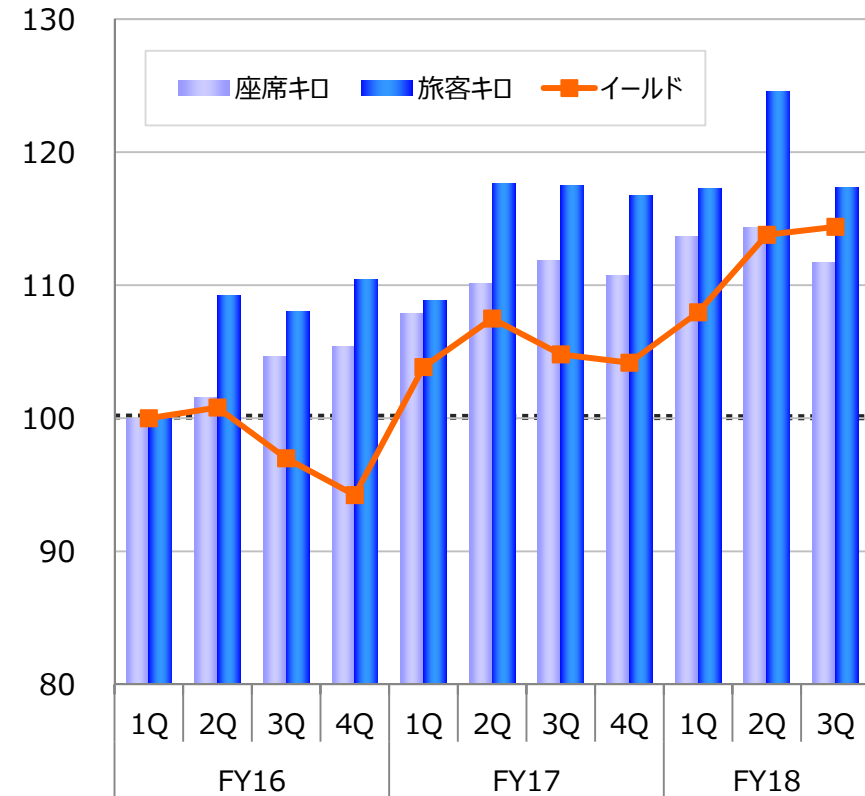
### 第3四半期累計 収入増減要因

### 四半期別 実績推移



単位：億円

(指数：FY16 1Q=100)



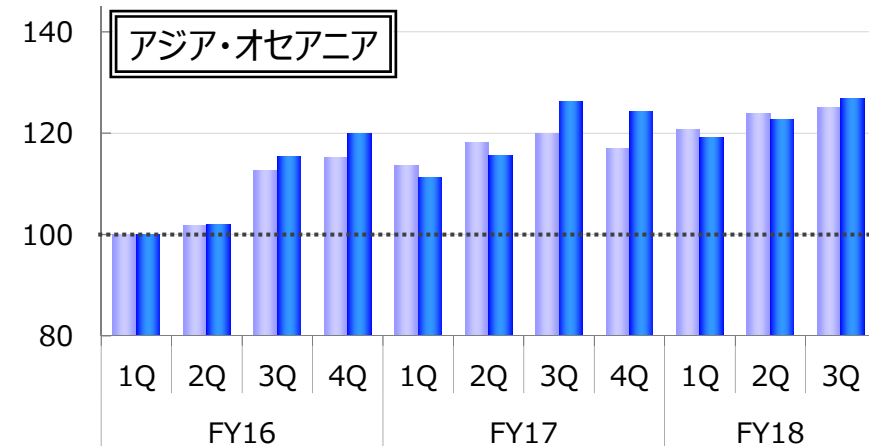
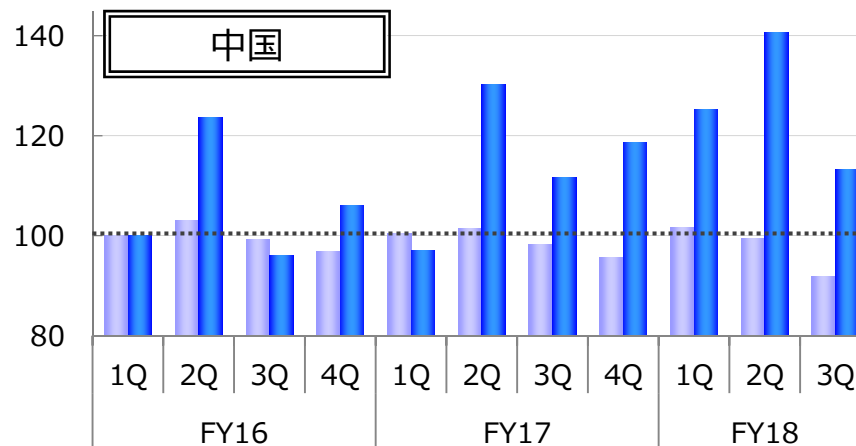
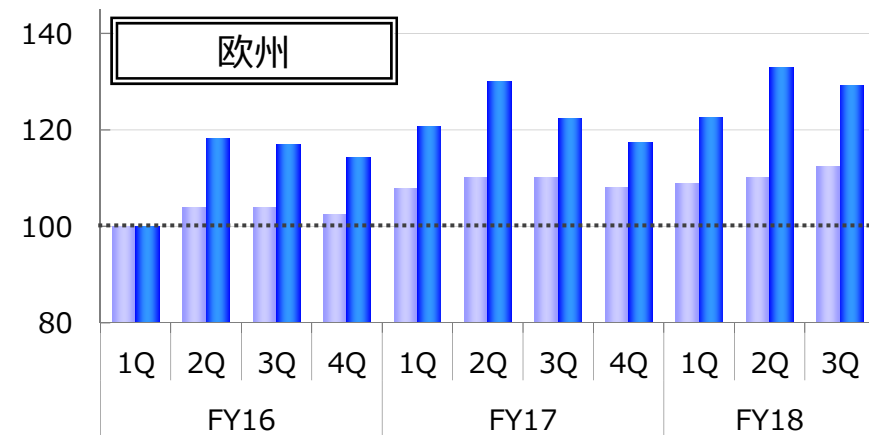
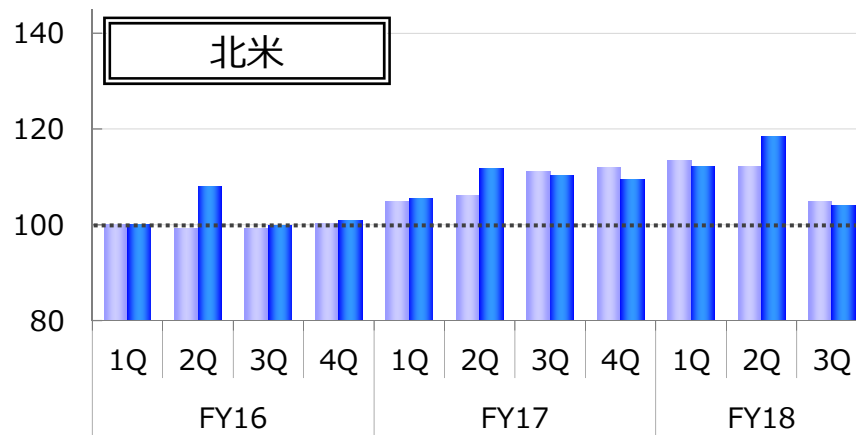
# 航空事業

## 国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

### 四半期別 方面別 座席キロ・旅客キロ 推移

（指数 FY16 1Q=100） ■：座席キロ ■：旅客キロ



Intentionally Blank

## 航空事業

## 国内貨物事業（実績）

	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,335	1,301	△ 2.5	432	+ 2.4
有償貨物トンキロ（百万）	347	316	△ 8.9	111	△ 11.1
貨物輸送重量（千トン）	338	305	△ 9.8	107	△ 12.0
貨物重量利用率（%）	26.0	24.3	△ 1.7pt*	25.7	△ 3.9pt*
貨物収入（億円）	236	213	△ 9.8	73	△ 13.8
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	17.7	16.4	△ 7.5	16.9	△ 15.8
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	68.1	67.4	△ 1.0	65.8	△ 3.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	70	70	+ 0.0	68	△ 2.1

\* 貨物重量利用率のみ前年差

## 航空事業

## 国際貨物事業（実績）

	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	5,116	5,388	+ 5.3	1,798	+ 4.2
有償貨物トンキロ（百万）	3,403	3,349	△ 1.6	1,095	△ 7.2
貨物輸送重量（千トン）	763	715	△ 6.4	231	△ 12.2
貨物重量利用率（%）	66.5	62.2	△ 4.4pt*	60.9	△ 7.5pt*
貨物収入（億円）	881	988	+ 12.1	346	+ 3.9
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	17.2	18.3	+ 6.4	19.3	△ 0.3
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	25.9	29.5	+ 13.9	31.6	+ 12.0
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	115	138	+ 19.8	150	+ 18.3

\* 貨物重量利用率のみ前年差

## 航空事業

## 【参考】国際フライト（実績）

本表のデータは、P.32記載実績の内数

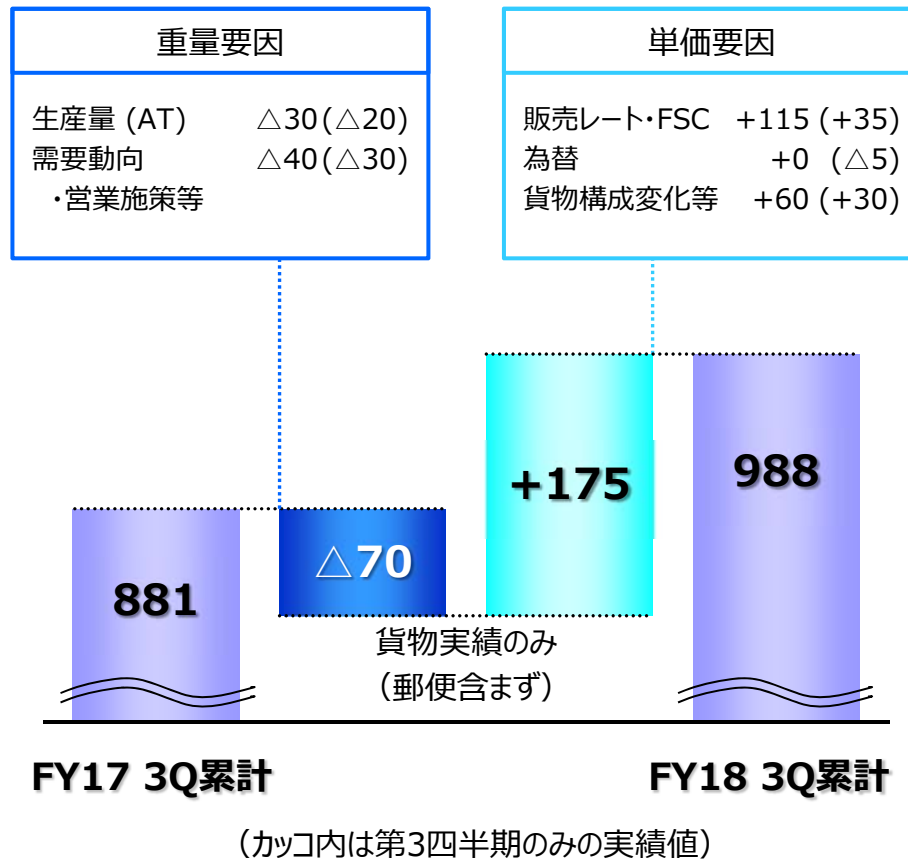
	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	797	953	+ 19.6	346	+ 35.5
有償貨物トンキロ（百万）	524	660	+ 26.1	238	+ 35.2
貨物輸送重量（千トン）	285	265	△ 6.9	87	△ 8.7
貨物重量利用率（%）	65.7	69.3	+ 3.6pt*	68.9	△ 0.2pt*
貨物収入（億円）	215	290	+ 34.5	107	+ 36.7
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	27.1	30.5	+ 12.5	31.0	+ 0.9
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	41.2	43.9	+ 6.7	45.1	+ 1.1
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	76	109	+ 44.5	123	+ 49.7

\* 貨物重量利用率のみ前年差

# 航空事業

## 国際貨物事業（事業動向）

### 第3四半期累計 収入増減要因

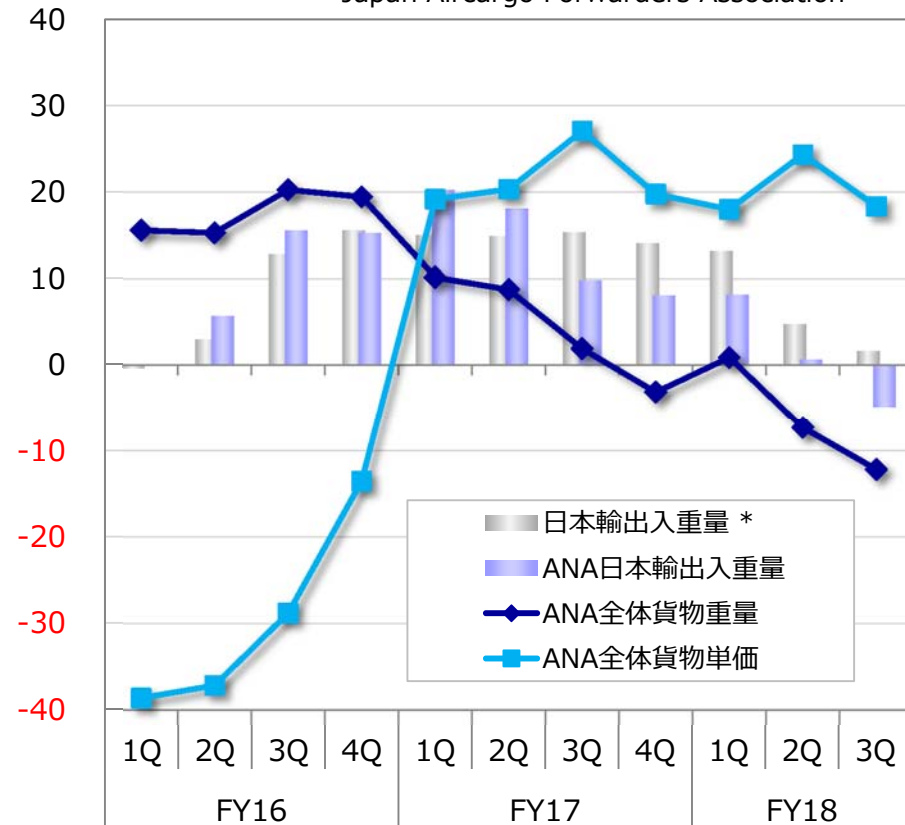


単位：億円

### 四半期別 実績推移

(前年比：%)

\* Japan Aircargo Forwarders Association



FY16の前年比については、販売手数料の廃止による影響を除いた実質的な単価で算出

## 航空事業

## LCC事業（実績）

	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
(Peach Aviation・バニラエア 合計)					
座席キロ (百万)	8,819	9,062	+ 2.8	3,062	+ 2.9
旅客キロ (百万)	7,593	7,797	+ 2.7	2,569	+ 3.5
旅客数 (千人)	5,790	6,099	+ 5.3	2,031	+ 6.7
座席利用率 (%)	86.1	86.0	△ 0.1pt*	83.9	+ 0.5pt*
売上高 (億円) **	643	692	+ 7.5	208	+ 3.2
ユニットレベニュー (円) (売上高/座席キロ)	7.3	7.6	+ 4.6	6.8	+ 0.3
イールド (円) (売上高/旅客キロ)	8.5	8.9	+ 4.7	8.1	△ 0.3
単価 (円) (売上高/旅客数)	11,120	11,349	+ 2.1	10,252	△ 3.2

\* 座席利用率のみ前年差

\*\* 売上高に付帯収入を含む

## 航空事業

## Peach Aviation 輸送実績

(国内線・国際線合計)	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	5,073	5,500	+ 8.4	1,882	+ 7.7
旅客キ〇 (百万)	4,388	4,794	+ 9.3	1,615	+ 10.3
旅客数 (千人)	3,771	4,101	+ 8.8	1,390	+ 10.0
座席利用率 (%)	86.5	87.2	+ 0.7pt*	85.8	+ 2.0pt*

## バニラエア 輸送実績

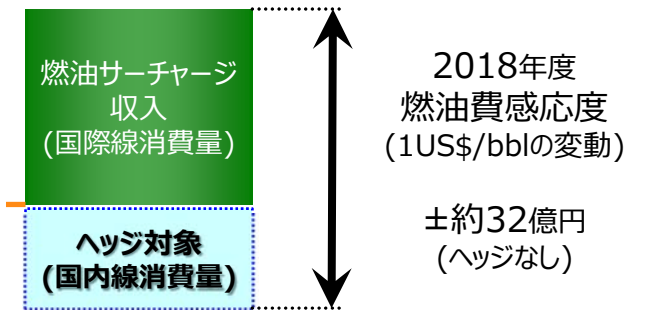
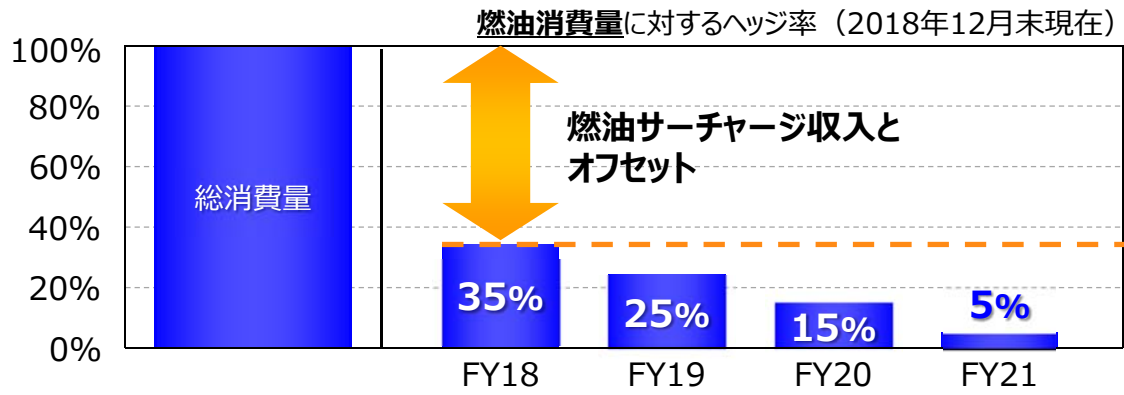
(国内線・国際線合計)	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年比(%)	FY2018 第3四半期	前年比(%)
座席キ〇 (百万)	3,746	3,562	△ 4.9	1,180	△ 4.0
旅客キ〇 (百万)	3,205	3,002	△ 6.3	954	△ 6.3
旅客数 (千人)	2,019	1,997	△ 1.1	641	+ 0.1
座席利用率 (%)	85.6	84.3	△ 1.3pt*	80.8	△ 2.0pt*

\* 座席利用率のみ前年差

# 燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

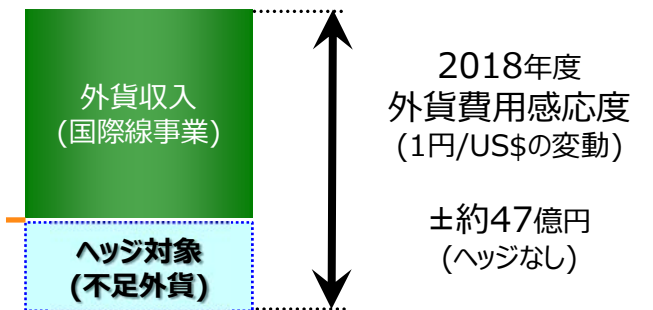
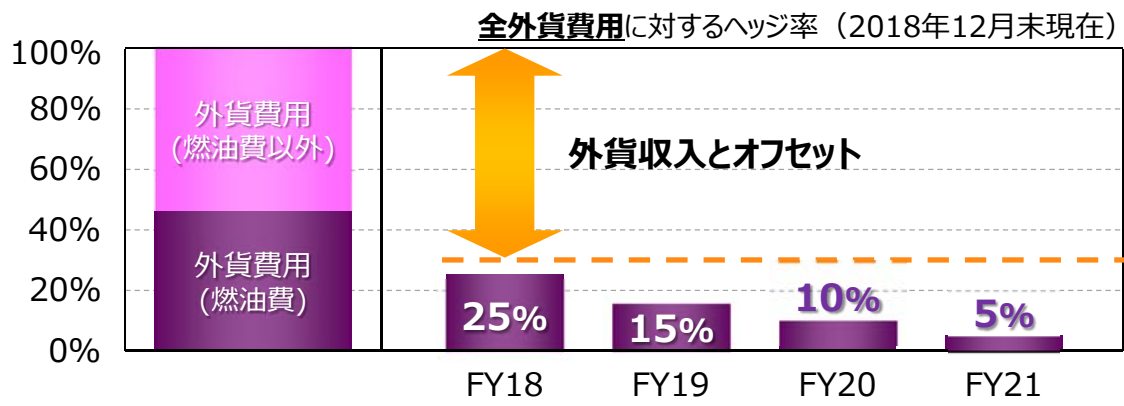
- 1. 燃油ヘッジ 基本方針**
- 1) 国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
  - 2) 国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージ収入で対応)

(US\$/bbl)	FY18 3Q累計実績	FY18 前提
ドバイ原油	71.5	62
シンガポールケロシン	86.7	75



- 2. 為替ヘッジ 基本方針**
- 1) 不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

(円/US\$)	FY18 3Q累計実績	FY18 前提
ドル円レート	111.2	110



## 航空事業以外のセグメント

セグメント別実績	航空関連事業			旅行事業		
	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差
単位：億円						
売上高	2,115	2,171	+ 55	1,219	1,152	△ 66
営業利益	114	122	+ 7	36	13	△ 23
減価償却費	35	33	△ 2	2	3	+ 1
EBITDA (営業利益+減価償却費)	150	156	+ 5	38	17	△ 21
EBITDAマージン(%)	7.1	7.2	+ 0.1pt	3.2	1.5	△ 1.7pt
	商社事業			その他		
	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差	FY2017 第3四半期累計	FY2018 第3四半期累計	前年差
売上高	1,065	1,142	+ 76	281	292	+ 10
営業利益	36	29	△ 6	23	19	△ 3
減価償却費	9	9	+ 0	1	1	△ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	45	39	△ 5	25	21	△ 3
EBITDAマージン(%)	4.3	3.5	△ 0.8pt	9.1	7.4	△ 1.7pt

## 補足資料



## 補足資料

運用航空機数		FY2017 期末	FY2018 第3四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
ANA	Boeing 777-300/-300ER	29	29	-	26	3
	Boeing 777-200/-200ER	21	21	-	17	4
	Boeing 787-9	28	30	+ 2	27	3
	Boeing 787-8	36	36	-	31	5
	Boeing 767-300/-300ER	34	30	△ 4	19	11
	Boeing 767-300F/-300BCF	12	12	-	9	3
	Airbus A321-200neo	2	10	+ 8	-	10
	Airbus A321-200	4	4	-	-	4
	Airbus A320-200neo	3	7	+ 4	7	-
	Airbus A320-200	7	5	△ 2	5	-
	Boeing 737-800	36	40	+ 4	24	16
	Boeing 737-700	7	7	-	7	-
	Boeing 737-500	14	9	△ 5	9	-
	Bombardier DHC-8-400	24	24	-	24	-
<b>ANA 計</b>	<b>257</b>	<b>264</b>	<b>+ 7</b>	<b>205</b>	<b>59</b>	
Vanilla Air peach	Airbus A320-200	15	15	-	-	15
	Airbus A320-200	20	23	+ 3	-	23
	<b>ANAグループ計</b>	<b>292</b>	<b>302</b>	<b>+ 10</b>	<b>205</b>	<b>97</b>

## 補足資料

国際旅客 方面別実績（構成比）		FY2018 第3四半期累計 構成比	前年差	FY2018 第3四半期 構成比	前年差
(ANAブランド)					
旅客収入	北米	30.2	△ 0.8	29.4	△ 1.1
	欧州	19.7	△ 0.2	19.3	+ 0.7
	中国	14.8	+ 1.3	13.5	+ 0.3
	アジア・オセアニア	30.3	△ 0.4	33.0	△ 0.1
	ハワイ	4.9	+ 0.1	4.8	+ 0.2
座席キロ	北米	32.8	△ 0.1	31.7	△ 1.9
	欧州	15.8	△ 0.3	16.2	+ 0.3
	中国	10.3	△ 0.6	9.8	△ 0.7
	アジア・オセアニア	36.1	+ 0.7	37.2	+ 1.6
	ハワイ	5.0	+ 0.3	5.1	+ 0.6
旅客キロ	北米	32.2	△ 0.7	30.7	△ 1.8
	欧州	16.7	△ 0.2	17.1	+ 0.9
	中国	10.4	+ 0.7	9.5	+ 0.2
	アジア・オセアニア	35.2	+ 0.0	37.1	+ 0.3
	ハワイ	5.5	+ 0.2	5.6	+ 0.4

## 補足資料

国際貨物 方面別実績（構成比）		FY2018 第3四半期累計 構成比	前年差	FY2018 第3四半期 構成比	前年差
貨物収入	北米	35.3	+ 4.1	36.7	+ 5.1
	欧州	14.5	△ 2.1	14.4	△ 3.3
	中国	22.9	△ 1.7	21.9	△ 2.9
	アジア・オセアニア	23.6	+ 0.6	23.6	+ 1.8
	その他	3.6	△ 0.9	3.4	△ 0.7
有効貨物 トンキロ	北米	40.9	+ 3.4	40.8	+ 2.2
	欧州	15.3	△ 0.7	15.6	△ 0.3
	中国	14.8	△ 1.3	14.2	△ 1.3
	アジア・オセアニア	27.1	△ 0.7	27.4	△ 0.2
	その他	1.9	△ 0.7	2.0	△ 0.5
有償貨物 トンキロ	北米	41.8	+ 4.8	41.8	+ 4.9
	欧州	17.2	△ 3.6	16.9	△ 4.4
	中国	13.3	△ 0.8	13.1	△ 1.1
	アジア・オセアニア	25.7	+ 0.4	26.2	+ 1.0
	その他	2.1	△ 0.7	2.1	△ 0.5

(Memo)



(Memo)



(Memo)



(Memo)



グループ経営理念

安心と信頼を基礎に、世界をつなぐ心の翼で夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である  
 私たちはお互いの理解と信頼のもと確かなしくみで安全を高めていきます  
 私たちは一人ひとりの責任ある誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、お客様満足と価値創造で  
 世界のリーディングエアライングループを目指します

グループ行動指針  
 (ANA's Way)

私たちは「あんしん、あったか、あかるく元気！」に、次のように行動します。

1. 安全 (Safety)  
 安全こそ経営の基盤、守り続けます。
2. お客様視点 (Customer Orientation)  
 常にお客様の視点に立って、最高の価値を生み出します。
3. 社会への責任 (Social Responsibility)  
 誠実かつ公正に、より良い社会に貢献します。
4. チームスピリット (Team Spirit)  
 多様性を活かし、真摯に議論し一致して行動します。
5. 努力と挑戦 (Endeavor)  
 グローバルな視野を持って、ひたむきに努力し枠を超えて挑戦します。

## 免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

**ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・IR部**

Eメール : [ir@anahd.co.jp](mailto:ir@anahd.co.jp)